

2018年度 大学院生の国際学会での発表

国際交流センターは、奈良女子大学大学院で学ぶ正規学生が海外で開催される国際学会で発表する場合、航空運賃を支援する事業を行っています。2018年度は6名の学生が国際学会で発表しました。その感想を紹介します。

16th Conference of the International Association of Colloid and Interface Scientists (IACIS 2018)

矢田 詩歩 (大学院人間文化研究科博士後期課程 共生自然科学専攻 3回生)

2018年5月21日から25日までの5日間、国際交流センターの助成をいただき、オランダのロッテルダムにて開催された“16th Conference of the International Association of Colloid and Interface Scientists”に参加しました。ロッテルダムは首都アムステルダムから電車で1時間のところにあるオランダ第2の都市であり、ヨーロッパ最大級の港湾都市でもあります。本会議は、1979年に設立されたInternational Association of Colloid and Interface Scientists (IACIS)が主催するコロイド・界面化学分野の国際会議です。本会議は、ロッテルダムが建築の街として知られるきっかけとなった名建築キューブハウスやオランダ最大の屋内フードマーケット、マルクトハル近くで開催されました。



ロッテルダムの街並み
(キューブハウス)

今回の国際会議では、“Aggregation Behavior of Homogeneous Polyoxyethylene Type Nonionic Surfactants modified with Terminal Group”という題目でポスター発表を行いました。日々の生活のさまざまな場面で使用されているポリオキシエチレン (EO) 系非イオン界面活性剤に対して、さらなる性能の向上や機能性の発現を目指して、EO系界面活性剤のEO鎖の末端にポリオキシプロピレン鎖やアルコキシ基を導入した単一鎖長EO系界面活性剤に関して、特にEO系界面活性剤が水溶液中で形成する分子集合体のナノ構造をX線および中性子小角散乱を用いて詳細に調べた内容を発表しました。ポスター発表を通して、国内外の研究者の方々と議論することができました。世界最高性能の放射光施設 SPring-8を使ったX線小角散乱実験の結果には、国外の研究者から注目を受け、多くの質問を受けました。良い環境で研究できていることを改めて実感し、今後の研究活動の励みになりました。昨年度はスペインで開催された国際会議に参加しましたが、そのときよりもディスカッションが盛り上がり、研究や英語に対する成長を感じることができました。



学会会場前にて

最後になりましたが、国際学会の参加にあたり手厚い支援をいただきました国際交流センターに心より御礼申し上げます。

Inside This Issue



大学院生の国際学会での発表



びっくりツアー「ねりねりねりね！」



国際空間CotoQue開所式



“ならじょ” から留学キャンペーン



「伊勢神宮」と「おかげ横町」

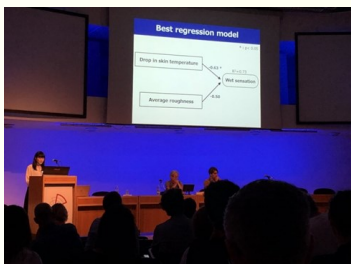


日本語スピーチ大会

Euro Haptics 2018

柴原 舞 (大学院人間文化研究科博士後期課程 生活工学共同専攻 3回生)

2018年6月13日から6月16日の4日間、イタリアのピサでEurohaptics2018が開催されました。Eurohaptics2018では、触覚 (haptics) に関連する、心理学、脳科学、アプリケーション、VRなど、多岐にわたる研究が発表されました。触覚がテーマの学会であることから、発表形式はOral、Poster、現在進行中の研究内容をポスター形式で発表するWork-in-Progress (WIP) や、開発装置や研究内容を実際に参加者に触って体験してもらうDemonstration形式の発表形式があります。今年は、40件のOral発表 (採択率24%) と55件のPoster発表、60件のWIP 発表、48件のDemo発表が行われました。



オーラル発表の様子

私はWetnessの知覚メカニズムの解明に向け、Dry-coldnessの刺激から湿り感を錯覚してしまう現象の生起条件を研究しており、“Relative sensation of weness of different materials” という題目でオーラル発表を行いました。私は3年連続、haptics関連の学会で発表を行っているのですが、今年は初めて口頭発表としての採択でした。発表した研究は、昨年オランダの触覚心理について取り組んでいる研究者のところに留学して、遂行した内容だったので、国際的に発表できたことを非常に光栄に感じました。事前に留学先の研究者相手に発表練習して臨み、練習通り発表できましたが、質疑応答ではマイクによる発音のわかりにくさや緊張感からうまく答えられなかったのが心残りでした。しかしながら、発表後にたくさんのフィードバックを聴講者からもらったので、国際的に研究する意義を実感しました。今回の渡航に際して、支援していただいた国際交流センターに感謝いたします。



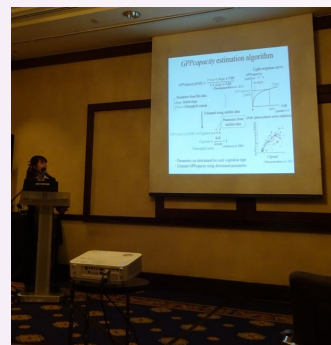
Banquet会場の様子

The 39th Asian Conference on Remote Sensing

若井 愛香 (大学院人間文化研究科博士前期課程 化学生物環境学専攻 1回生)

2018年10月14日から19日にマレーシアのクアラルンプールで開催されたThe 39th Asian Conference on Remote Sensingに参加しました。この学会は、リモートセンシング技術の発展と応用について、アジアの研究者や学生がディスカッションを行うことを目的として毎年開催されています。

私は、地球温暖化問題の解決に貢献するため、衛星のデータを用いて、地球上の植物が吸収する二酸化炭素量を推定する研究を行っています。学会では、ブラジルの常緑広葉樹林が吸収する二酸化炭素量を推定する手法について口頭発表を行いました。初めての国際学会ということもあり、英語で発表し、質問に的確に答えることにとても苦労しましたが、自身の研究内容を違った角度から見つめ直すことの大切さや、英語でコミュニケーションを取ることの必要性を再認識するきっかけとなりました。これらの経験は、日々の研究や、その後に参加した学会で発表を行う際に活かされています。



口頭発表



とても楽しかった学生の交流会

発表以外にも、ディナーパーティーやティータイム、学生同士の交流会がありました。大学からは独りで参加しており、初めは戸惑っていましたが、勇気を出して自分から話しかけに行くことで、様々な国の沢山の方々と知り合うことができました。このときに仲良くなった友達とは今でも連絡を取り合っています。

国際学会に参加することで、世界のレベルを知り、より一層研究に励みたいと考えるようになりました。このような貴重な経験ができたことを嬉しく思います。

最後になりましたが、国際学会への参加を支援して頂いた奈良女子大学国際交流センターに感謝申し上げます。

8th International Colloids Conference 2018

河合 里紗 (大学院人間文化研究科博士後期課程 共生自然科学専攻 2回生)

2018年6月10日～13日までの4日間、国際交流センターの助成を頂き、中国の上海で開催された“8th International Colloids Conference 2018”に参加しました。本会議は、世界最大規模の出版社ELSEVIERが主催の国際会議であり、約20ヶ国から300名以上が参加する大規模な会議でした。今回の国際会議では、“Properties of quaternary ammonium salt-type gemini ionic liquids and surface adsorption behavior of polyoxyethylene-type nonionic surfactant in ionic liquid”という題目でポスター発表を行いました。本会議では、界面活性剤とイオン液体の両機能を併せもった新規の化合物の開発を目指して、環境負荷低減型として近年注目されている



上海の街の様子



学会会場（復旦大学）にて

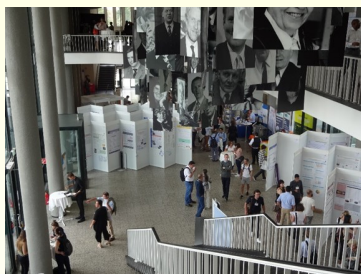
るジェミニ（ラテン語で“双子”）型の四級アンモニウム塩系両親媒性イオン液体を新規に合成し、融点や電導度などの物理化学的性質およびイオン液体と界面活性剤の2成分系における表面吸着挙動と会合挙動について発表しました。本会議で発表することで、世界で活躍するコロイド・界面化学分野の研究者に自分の最新の研究を伝え、議論や助言をいただくことができ、研究を続けていく上で貴重な経験となりました。さらに、コロイド・界面化学の最新の研究に関する情報を得ることもできました。

海外での国際学会への参加は初めてでしたが、現在急発展している中国の中でも最も栄える上海で、発表の機会に恵まれたことは有意義な経験となりました。上海の街は、高層ビルや人口など想像をはるかに超えていて、圧倒させられました。研究に関しても、近年中国の理工系の論文引用数は多くの分野で1位を占めるというニュースを見て、私たちも負けないように研究を頑張りたいと思いました。

26th International ICFMH Conference, Food Micro 2018

小宮山 瑤子 (大学院人間文化研究科博士前期課程 食物栄養学専攻 2回生)

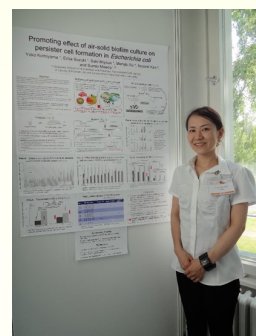
2018年9月に4日間にわたりベルリンで開催された26th International ICFMH Conference, Food Micro 2018（第26回国際微生物連合食品微生物学・衛生学委員会国際会議、フードマイクロ2018）に参加しました。この学会は国際食品微生物・衛生学委員会（ICFMH）が主催し、隔年で行われる、食品微生物学分野の最も主要な国際学会です。私は“Promoting effect of air-solid biofilm culture on persister cell formation in *Escherichia coli*”というタイトルでポスター発表を行いました。本研究の結果は、パーシスターセル（遺伝子的には抗生物質感受性であるにも関わらず、一時的に抗生物質への耐性を示すようになった細胞）が食品や食品容器などの表面にも形成される気相一固相バイオフィームを通して、人間の生活環境、さらには体内に入り込んでいる可能性を示唆するものでした。本研究発表に対しては、各国の多数の研究者から関心を持ってもらい、直接対面で活発な議論や情報交換を行うことができた点が意義深かったと思います。



会場の様子

また私自身は各国の研究者の発表から、食品微生物学に関する国際的な研究の動向や、新たな知見・方法論など、論文を読むだけでは得られない様々なことを学ぶことができました。

さらに、今回の学会では非常に多くの女性研究者が発表していました。私自身も今現在民間企業で研究員として働いていますが、この学会で女性研究者の活躍を間近で見られたことが進路選択の一助となったと感じています。ご支援いただいた奈良女子大学国際交流センターには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



発表ポスターの前で

奈良女子大学国際空間CotoQue開所式

2019年4月5日(金)、大会館2階に「奈良女子大学国際空間CotoQue (ことーく)」がオープンしました。

CotoQueでは、いろいろな国の言葉や文化に触れられるイベントを行います。イベント以外の時間も、日本人学生や留学生が気軽に集い、交流を行う場として活用できます。

また、外国語ニュースや多言語で日本映画の上映、留学生活の映像が流れています。

CotoQueは、学内でここに来たら国際的なもの(言語・文化)に触れられる!という空間になります。

キーワードは「グローバル」「多言語」「異文化理解」そして何よりも「楽しく!」

6月に実施した CotoQueイベント

English Free Talk
IELTS説明会
CIEE海外ボランティア説明会
TOEFL説明会
茶道教室
Cooking Class in English
いけばな教室

Have fun in CotoQue!



説明会の様子

いけばな教室

留学生と日本人学生が数人のグループを作り、一つの花器に全員で花を生けました。どの花を使い、どのようなイメージに仕上げるかをみんなで相談して決めました。一部の学生の感想をご紹介します。

- 同じ花の種類を選んでいるのに、グループによって全然違う作品ができたのが面白かった。(日本人学生)
- 今まで知らなかったお花をたくさん知ることができた。季節のお花を見て、今までより四季が感じられるようになった。(留学生/中国)
- 初めて「いけばな」を体験して、改めて素晴らしい日本文化だと思った。(日本人学生)
- 気持ちが落ち着いて、とてもリラックスできました。(留学生/中国)



茶道教室

留学生と日本人学生が混ざった各テーブルで、順番に隣の人のためのお茶を点てました。茶道の作法だけでなく、お菓子やお茶についての知識を得る機会となりました。一部の学生の感想をご紹介します。



- 普段あまり話すことのない留学生の方々とゆっくり話すことができ、文化について考える機会になりました。(日本人学生)
- 紫陽花の和菓子はとてもおいしく、友達が作った抹茶もとてもおいしかった。(留学生/中国)
- 茶道は日本の文化なのに、自分の言葉で説明出来ないもどかしさを感じ、様々な国の文化を知ると同時に日本の文化にももっと詳しくなりたいと思いました。(日本人学生)
- 非常に有意義な体験ができました。本当にありがとうございました。(留学生/中国)
- 自分で抹茶を作るのは最初はあまり上手くできなかったけれど、練習したら上手くなりました。(留学生/中国)

Cooking Class in English

インドネシア：ナシゴレン
アメリカ：マシュマロポップコーン



English Free Talk

「伊勢神宮」と「おかげ横町」

2019年6月15日(土)、「外国人留学生実地見学旅行」が行われ、留学生38名、引率者2名の計40名が参加しました。目的地までのバスの中では、伊勢神宮に関する神話や歴史を学び、参拝の作法とマナーも確認しました。到着したときにはかなりの雨が降っていましたが、全員で伊勢神宮の内宮へ参拝し、そのあとは自由に「おかげ横町」を散策しました。

あいにくの天気だったことは残念でしたが、帰りに休憩で立ち寄ったサービスエリアから虹を見ることができたのは、良い思い出になりました。



五十鈴川にかかる宇治橋より



伊勢神宮(内宮)手水舎にて



びっくりツアー「ねりねりねりね！」



2019年度キャリア教育科目「キャリアデザインゼミナール」B37の「国際グループA/B」の授業では、留学生・日本人学生が国際交流イベントの企画・実施を通じて、異文化間コミュニケーションを行います。

前期の授業では、12名の学生がツアーを企画し、6月29日に実施、19名の学生がそのツアーに参加しました。

今回のツアーの内容は、日本の文化を体験できる「京の上生菓子 ねりきり細工 手作り体験 ねりねりねりね！」

留学生はもちろん、日本人学生でも初体験の人がほとんどで、普段手にしたことがない和菓子を作る道具にもびっくりしながら、楽しくねりきり細工に挑戦しました。



参加した学生の感想をご紹介します。



- 目的地までのバスの中で他国の話が聞けたのが良かった。
- 普段は留学生と話をする機会があまりないので、たくさん話げたのは楽しかった。
- 和菓子を作ることも楽しかったし、友達ができたのもよかった。
- 他国の文化を知ることができた。
- 初対面でも楽しく交流できた。
- 中国語の早口言葉(バスの中でのレクリエーション)、難しいー!

2018年度「ならじよ」から留学キャンペーン



2018年7月1日～2019年3月31日の期間で133名の学生が留学しました。
このキャンペーンは、留学前に「海外渡航届」を国際課へ提出するだけでエントリーができます。留学の内容は、語学だけでなくインターンシップやボランティアも含まれています。

また、2019年7月1日からは、2019年度「ならじよ」から留学キャンペーンがスタートします。今年度は、目標が140名！目標の人数が達成できたら、対象のみなさんには素敵な記念グッズを差し上げます。

みんなで留学して、記念グッズをもらおう！



2018年度の記念グッズは、オリジナルのクリアファイルでした。取りに来るのを忘れた方は、国際交流センターまで！

2019年度の記念グッズは、オリジナルの付箋を予定しています。留学する際は、「海外渡航届」の提出忘れずに！



外国人留学生による日本語スピーチ大会



2019年6月27日、大学会館2階の大集会室にて「外国人留学生による日本語スピーチ大会」が開催されました。

9名の留学生が参加し、日本に来て驚いたこと、自国との比較、今後の目標など、それぞれのテーマでスピーチをしました。

今岡学長を含めた7名の審査委員の皆さまに大会終了後に審査をしていただき、受賞者が決定しました。今大会の受賞者は、12月に開催予定の奈良県大会にも出場します。

スピーチ大会終了後は、大学会館1階の生協食堂にて、学長主催の留学生懇親会が行われ、支援団体の皆さまや留学生、本学関係者の歓談の場となりました。

センター及び国際課の活動

- 4/ 5(金) 国際空間CotoQue開所式
- 4/10(水) 新入留学生オリエンテーション&歓迎会
- 4/16(火) グローバル女性人材養成プログラム(ベトナム)募集説明会
- 4/23(火) グローバル女性人材養成プログラム(中国)募集説明会
- 4/24(水) グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン)募集説明会
- 5/10(金) フィリピン(セブ島)インターンシップ募集説明会
- 5/14(火) CIEE 海外ボランティア説明会/TOEFL説明会
- 5/17(金) JSAF 前期留学説明会
- 5/28(火) グローバル女性人材養成プログラム
(ベトナム)(中国)(フィリピン)第1回渡航説明会
- 5/29(水) 協定校への留学説明会
- 6/ 7(金) SAF主催 IELTS 説明会
- 6/15(土) 外国人留学生実地見学旅行「伊勢神宮」と「おかげ横町」
- 6/18(火) グローバル女性人材養成プログラム
(フィリピン)第2回渡航説明会
- 6/27(木) 外国人留学生によるスピーチ大会

国際交流センターより



国際交流センターの交流スペースが新しくなりました！
机も可動式になり、利用目的によって配置を変えることができます。
全体的に明るい雰囲気、使いやすくなったと好評です。
近くまで来たら、是非立ち寄ってくださいね。

奈良女子大学 国際交流センター

NEWSLETTER Vol.55 2019年6月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp